

CUCM と IM/P 向けに社内グループを設定する

目次

[概要](#)

[Prerequisites](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[制限事項](#)

概要

この資料は Microsoft Active Directory のグループを管理、ジャバーか他の IM クライアントを通してグループ検索を行えるの利点を奪取できる機能を説明していたものです。

Prerequisites

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified Communications Manager バージョン 11.0
- Cisco Unified IM および存在バージョン 11.0
- Microsoft Active Directory
- Cisco Jabber クライアント

注: この資料はアクティブ ディレクトリで既にユーザに作成してもらっている、CUCM と同期されましたと仮定し。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

背景説明

CUCM 管理として、それはジャバーか他の IM クライアントを通してグループ検索を行えるの利

点を奪取できるようにディレクトリ同期化サービスの強化された機能が AD LDAPサーバからのグループとユーザの配信グループおよびアソシエーションだけ同期ことはできるように要求します。

Cisco Unified Communications Manager リリース 11.0 を使うと、Cisco Jabber ユーザはグループを捜すことができます

Microsoft Active Directory は連絡先リストにそれらを追加し。連絡先に既に追加されているグループ

リストは更新済、連絡先リスト得ます自動的にアップデートされてです。Cisco Unified Communications Manager は同期します

規定の間隔の Microsoft Active Directory グループが付いているそのデータベース。

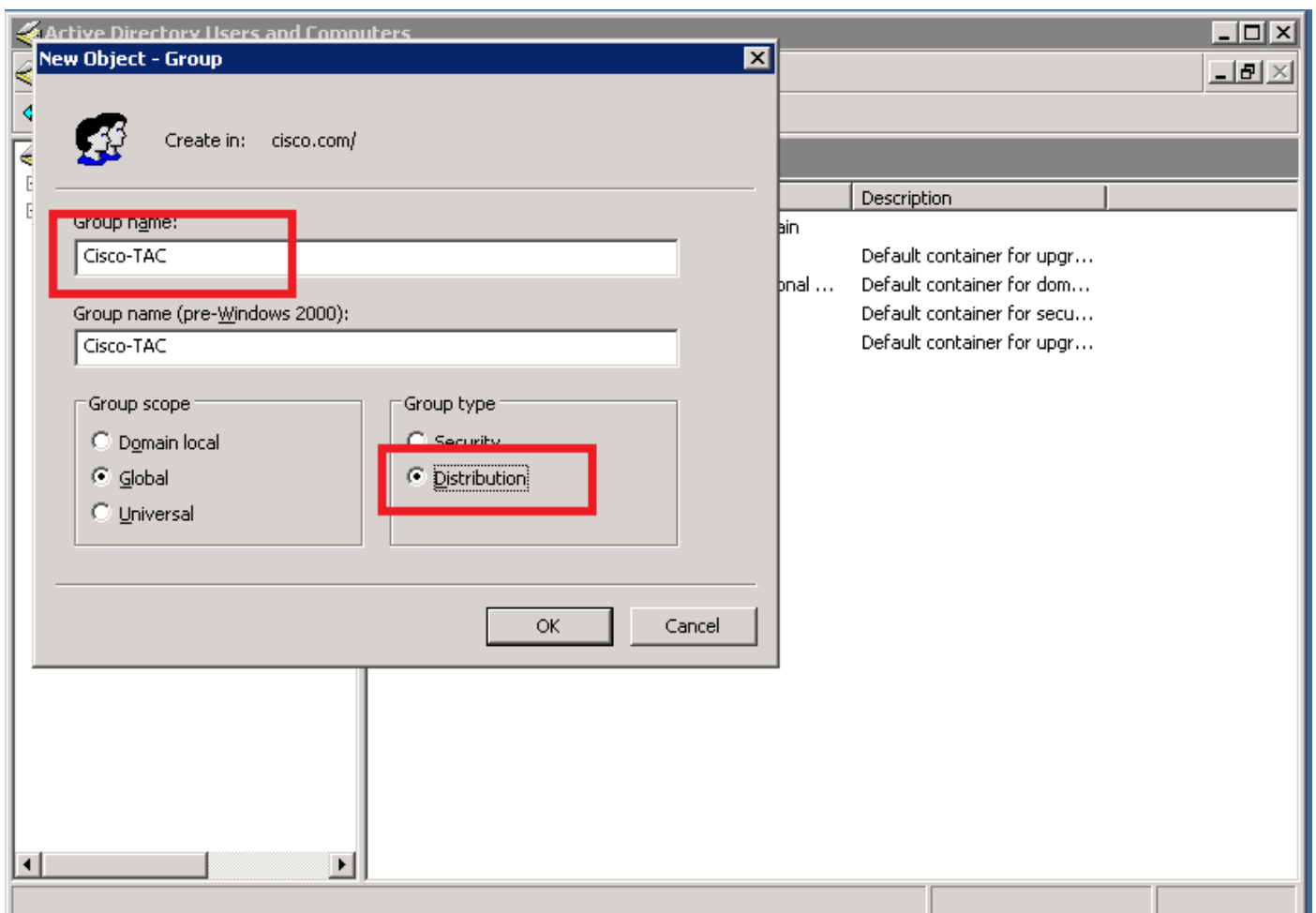
エンドユーザ (ジャババー ユーザ) は groupchats 先祖などにロースタ名簿に各メンバー存在を見るか、またはそれらを送信 IMs、追加しますそれらをそれからそれらのグループを追加し、すぐにできる可能性があります

これらのグループは「read only」グループで、クライアントから編集可能ではないです。

行うそのグループのクライアント意見の AD のグループへのどの変更でも示す必要があります。

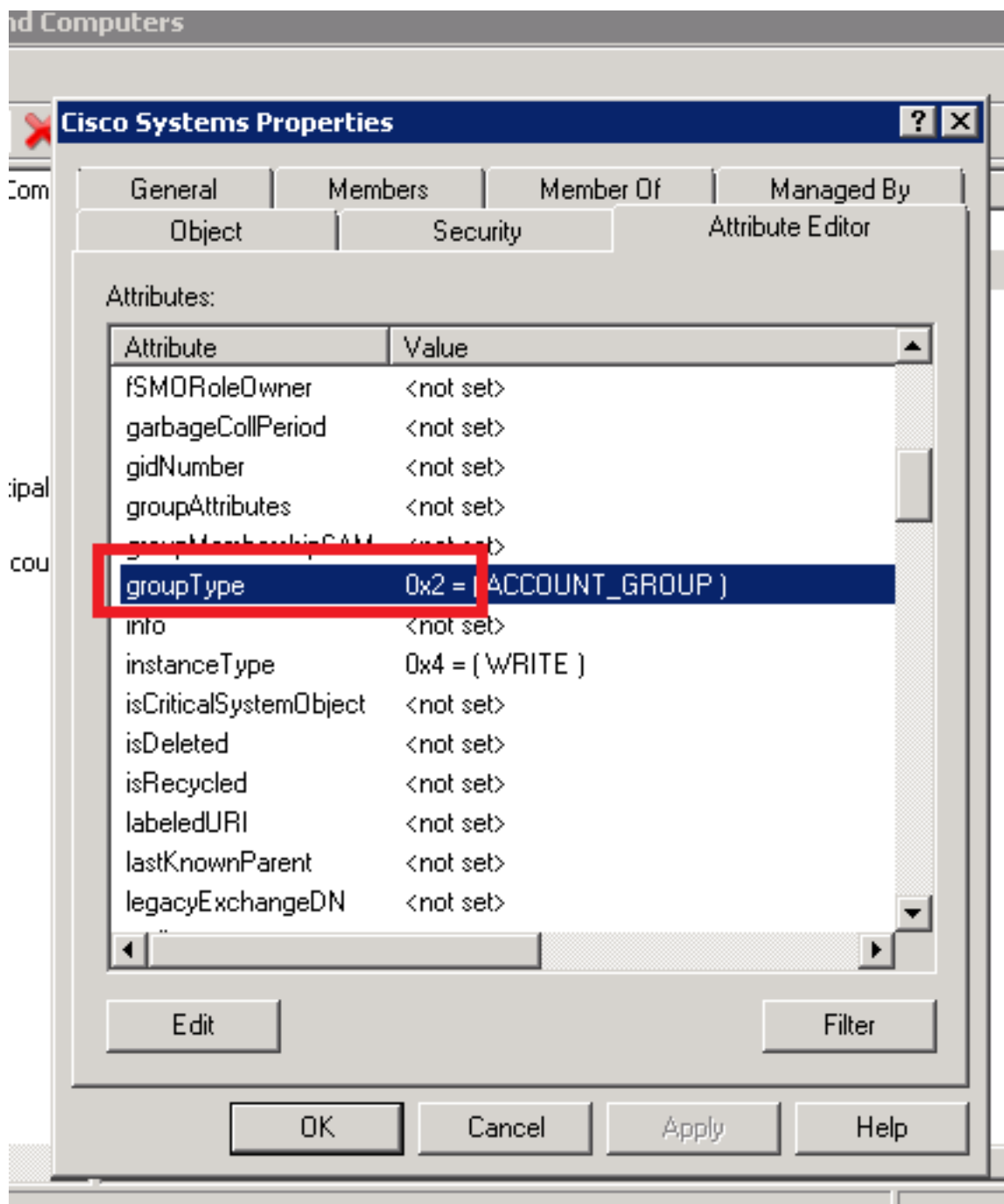
設定

ステップ 1 イメージに示すように Active Directory (AD) の新しいグループを、作成して下さい。分配としてグループタイプを作成するようにして下さい。



グループを右クリックし、属性エディタ タブを『Properties』を選択し、それからクリックして

下さい。イメージに示すように 2 としてグループタイプを、確認できます。



グループが作成されたら、上記のグループにそれぞれユーザを追加して下さい。

ステップ 2. システムへのナビゲート -- LDAP-- [LDAP Directory]

CUCM データベースと Microsoft Active Directory のユーザおよびグループを同期するために、イメージに示すように、**Groups オプション・ボタン** 『Users』 を選択すれば。

LDAP Directory

Save Delete Copy Perform Full Sync Now Add New

Status

Status: Ready

LDAP Directory Information

LDAP Configuration Name*	LDAP11
LDAP Manager Distinguished Name*	admin
LDAP Password*
Confirm Password*
LDAP User Search Base*	ou=LDAPUsers11,dc=akasverm,dc=com
LDAP Custom Filter for Users	< None >
Synchronize*	<input type="radio"/> Users Only <input checked="" type="radio"/> Users and Groups
LDAP Custom Filter for Groups	< None >

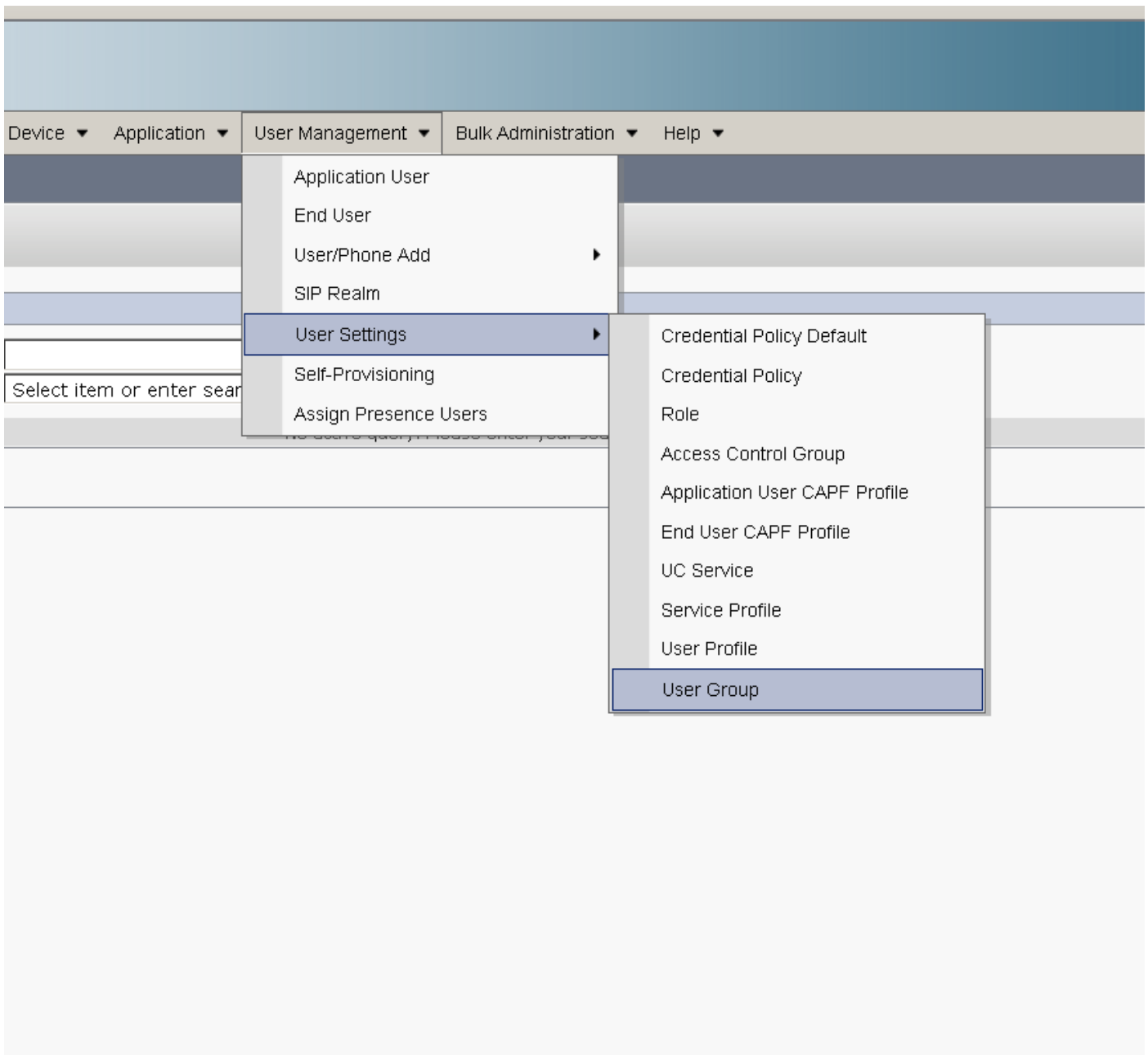
注: 社内 ディレクトリとして Microsoft Active Directory を使用しているときだけ**ユーザおよびユーザおよび Groups**オプション・ **ボタン**だけ利用できます。

それが同期されれば、

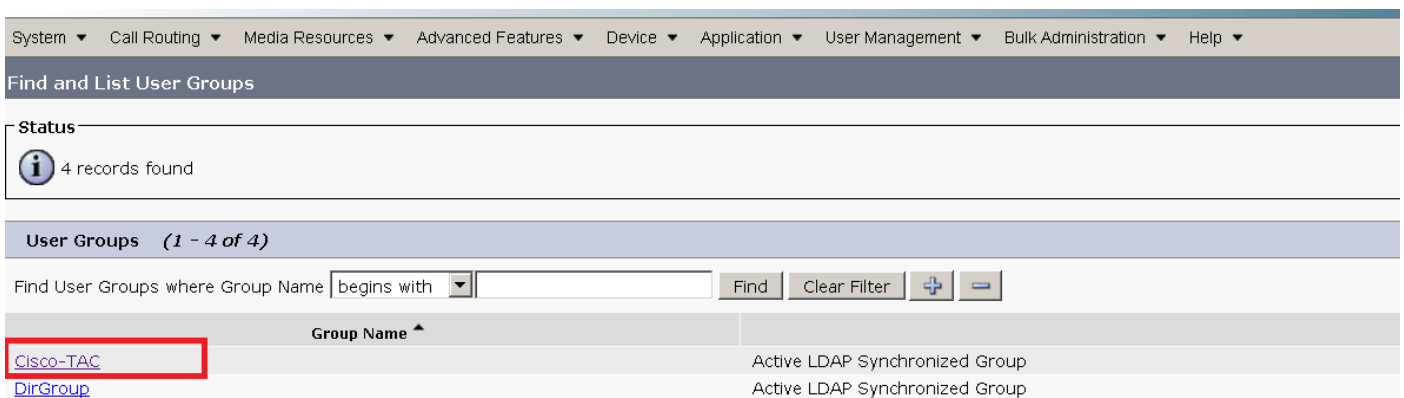
Cisco Unified CM 管理から、**ユーザマネージメント > ユーザ設定 >** 示されていた **inthe** イメージとして**ユーザグループ**へのナビゲート。

検索およびリスト ユーザグループ ウィンドウは現われます。

ステップ 1.で作成された新しいグループを表示できます。



グループを『User』をクリックすれば、作成されるグループを表示できます。



ユーザグループに属するユーザのリストを表示するために、必須ユーザグループをクリックして下さい。

ユーザグループ コンフィギュレーションウィンドウは表示されます

検索基準を入力し、『Find』をクリックして下さい。

検索 基準を満たしたユーザのリストはイメージに示すように表示されます:

The screenshot shows the 'User Group Configuration' page. At the top, there is a navigation menu with items like System, Call Routing, Media Resources, etc. Below that, the 'Status' section contains an information icon and the text 'LDAP Synchronized Groups cannot be modified'. The 'Group Information' section lists details for the 'Cisco-TAC' group, including its Distinguished Name and Group Type. The 'User' section shows a list of three users: 11ldap1 user1, 11ldap2 user2, and 11ldap3 user3. A search bar is visible above the user list.

新しいエンタープライズ パラメータ ディレクトリ グループ オペレーション on Cisco IM および存在は追加されます
エンタープライズ パラメータ コンフィギュレーションウィンドウ。このパラメータは AD グループを有効にするか、またはディセーブルにすることを可能にします
同期化機能。これらのステップが AD グループ同期化機能を有効にするのに使用されています。

Cisco Unified CM 管理から、**System > Enterprise Parameters** へのナビゲート。
エンタープライズ パラメータ コンフィギュレーションウィンドウは表示されます。

ステップ 3 パラメータが区分したりユーザマネージメントで、**ディレクトリ グループ オペレーション**から『Enabled』を選択して下さい
イメージに示すように **Cisco IM および存在**ドロップダウン リスト:

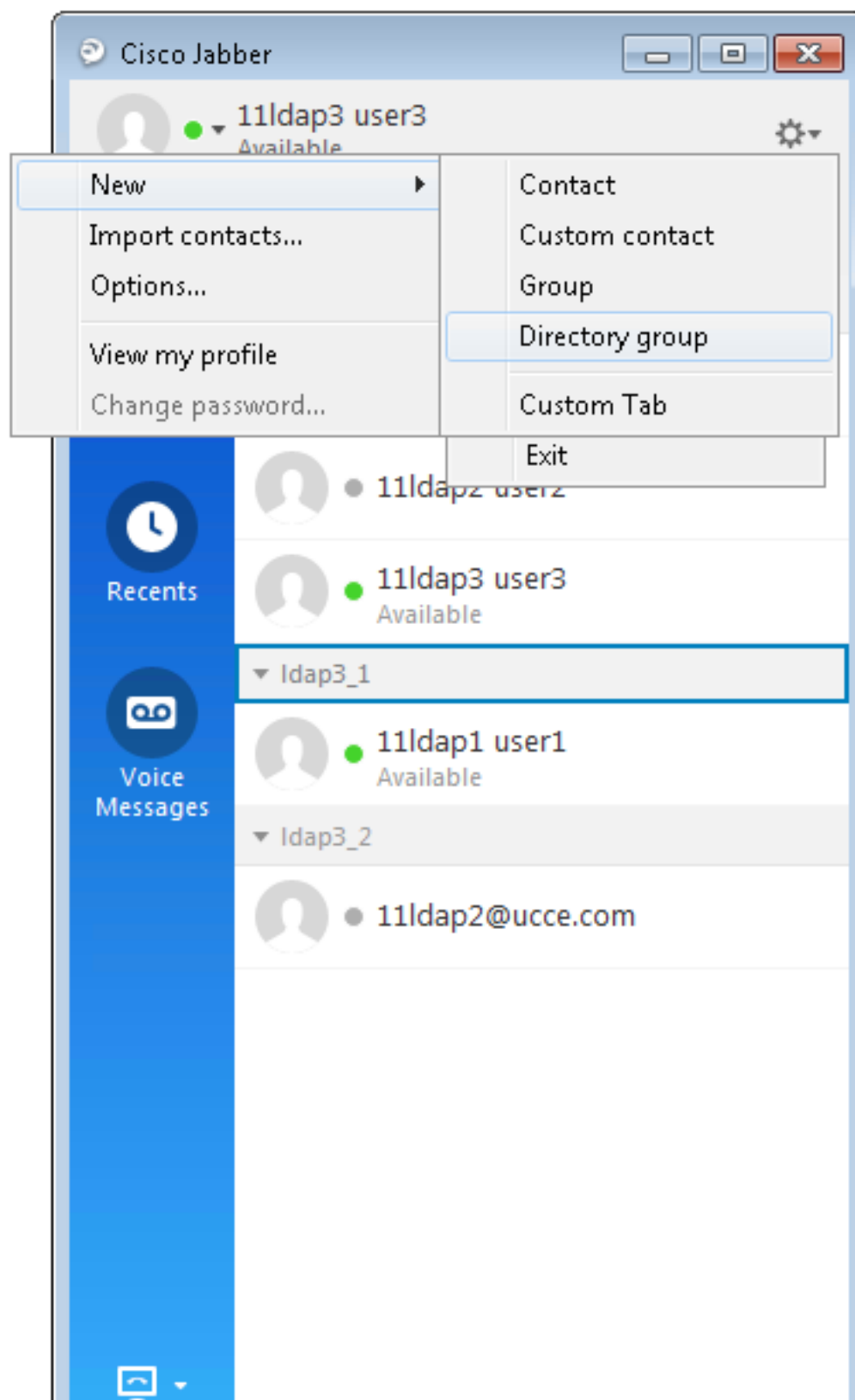
The screenshot shows the 'User Management Parameters' configuration page. It contains several rows of parameters with dropdown menus. The row for 'Directory Group Operations on Cisco IM and Presence' is highlighted with a red box, and its dropdown menu is set to 'Enabled'. Other parameters include 'Effective Access Privileges For Overlapping User Groups and roles' (Maximum), 'Allow non-super user to grant access to administrative web pages' (True), 'User Assignment Mode for Presence Server' (Balanced), and 'Syncing Mode for Enterprise Groups' (Differential Sync).

ジャバー クライアント機能拡張

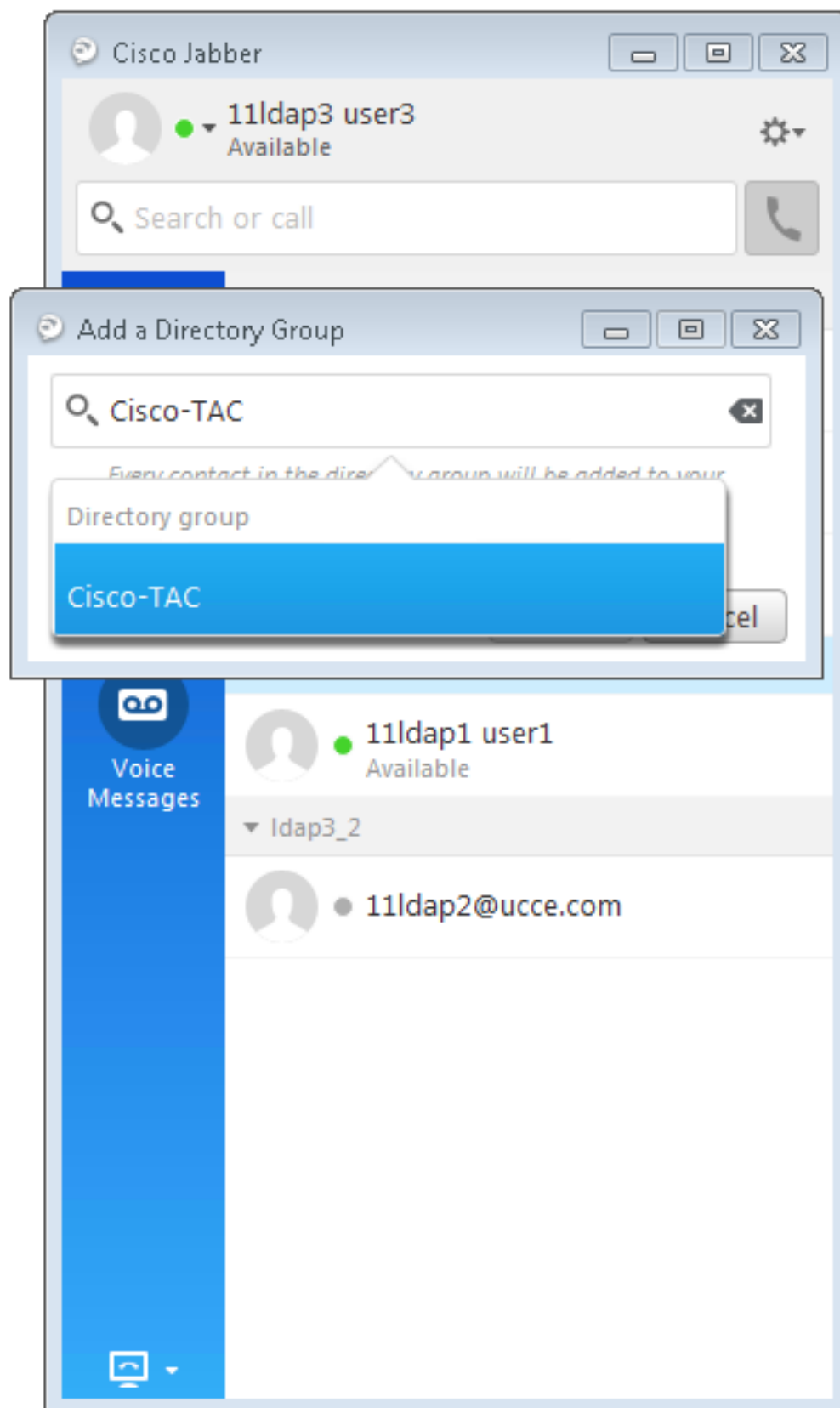
ジャバー クライアントはこれらの企業グループ機能性をサポートするために高められます:

- 連絡先リストに既存のディレクトリ グループを追加して下さい。
- 連絡先リストから既存のディレクトリ グループを削除して下さい
- 連絡先リストのディレクトリ グループ メンバーの存在更新の表示。
- ダイナミック アップデートはユーザなしでグループに AD サーバの内になされたディレクトリ グループかメンバーに表示してログインまたはなりません。
- ユーザが複数のリソースを通してログオンされる場合のクライアントでサポートされるグループ機能。

イメージに示すように **Menu> New> ディレクトリ グループ**にナビゲートして下さい:



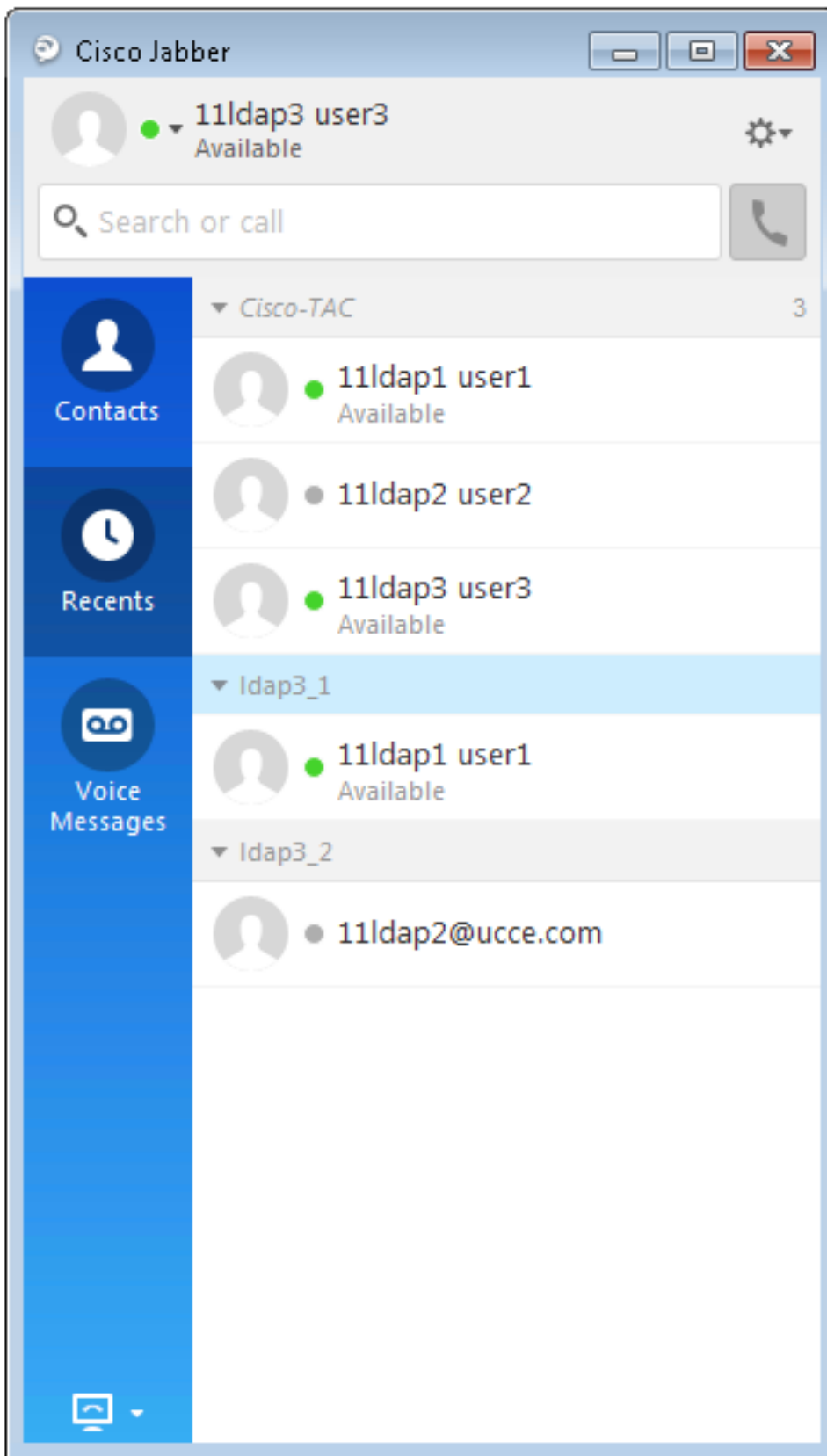
この場合イメージに示すようにグループの名前を、入力して下さい:



確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

グループが追加に成功した後、イメージに示すように存在と共にメンバー全員を次のように表示できます:



IM に割り当てられるおよび存在サービス ノードだけに追加することができますグループ メンバ
—
連絡先リスト。他のグループ メンバーは廃棄されます。

企業グループ機能をディセーブルにする場合、Cisco Jabber ユーザはそれから Microsoft アクティブを検索できません

ディレクトリ グループはまたは連絡先リストに既に追加したグループに会います。 ユーザが既にログオンされていれば

企業グループ機能をディセーブルにするとき、グループはユーザがログアウトするまで目に見えます。 設定が完了したら、ユーザは、グループ目に見えるべきではないです再度ログオンします。

トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

1. グループが AD サーバから CUCM に同期しなかったりこれらをチェックして下さい:

- Directory ページ一致ページを同期し、**ユーザおよび Groups オプション** ボタンが選択されるイメージに示すようにかどうかがチェックするために LDAP でナビゲートして下さい:

LDAP Custom Filter for Users < None >

Synchronize*
 Users Only Users and Groups

LDAP Custom Filter for Groups < None >

- かどうかが AD の**セキュリティグループ**として作成されるグループ確認して下さい (配信グループだけサポートされます)。

2. ジャバール クライアントでは、ディレクトリ グループを追加するオプションがないし、Enterprise Parameter ページに**ディレクトリ グループ オペレーション on Cisco IM がおよび存在**フィールド イネーブルになったに設定されるかどうか確認して下さいナビゲートし。

3. ジャバール クライアント ディレクトリ グループがチェックをこれそれから追加されない場合:

- ステータスが Inactive そしてである場合 CUCM のユーザーグループ ページにナビゲートし、その ADGroup のステータスが非アクティブであるかどうか確認して下さい、それは追加されません。
- ロースタ名簿限界が IM/P サーバ 管理ページ存在 à 設定 à 標準の設定の割り当てられた値より多く超過すれば

Enable use of Email Address for Inter-domain Federation

Maximum Contact List Size (per user)* 200 No Limit

Maximum Watchers (per user)* 200 No Limit

- AD グループ メンバーの存在が示されていないなかったら AD グループ メンバー数が以上 100 あるかどうか確認して下さい。 そうであれば最大限が各 AD グループのための 100 であるので 100 つ以上それからその AD グループのための存在ブロックされます

制限事項

これらの制限は企業グループ機能に適用されます:

- 企業グループは配信グループだけ同期するために割り当てを特色にします。同期のセキュリティグループはこのリリースでサポートされません。
- ユーザグループ コンフィギュレーションウィンドウで、フィルタはユーザ向けにだけ利用可能です。フィルターは利用できません
ユーザグループのため。
- 多重レベル グループ化はグループ同期化のために許可されません。
- ユーザグループおよびユーザが同じ検索ベースに時、グループだけ同期はありません
割り当てられる。その代り、ユーザグループ、またユーザは同期されます。
- Microsoft Active Directory サーバからの最大 15000 人のユーザグループを同期できます
Unified Communications Manager データベース。各ユーザグループは最大 100 人のユーザを含むことができます。
- ユーザグループが 1 Organization Unit から別のものに移られる場合、の完全な同期化を行って
下さい
新しいユニットの完全な同期化に先行しているオリジナル ユニット。
- ローカル グループはサポートされません。 Microsoft Active Directory から同期されるグループ
だけサポートされます。
- IM に割り当てられないおよび存在サービス ノードは連絡先リストでとの表示しますグループ メンバー
選択不可能になる存在バブル。ただし、これらのメンバーは最大を計算するとき考慮されます
連絡先リストで許可されるユーザの数。
- Microsoft Office コミュニケーション サーバからの移行の間に、企業グループ機能はありません
ユーザが IM および存在サービス ノードに十分に移行されるまでサポートされる。
- LDAP ディレクトリ設定ウィンドウの同期オプションを間、変更する
同期は進行中、既存の同期残ります変化しなくです。たとえば、
ユーザおよびグループからユーザに同期オプションを時だけ同期変更して下さい
進行中、ユーザはでありグループ同期はまだ続きます。